

2023年度

ニチキッズ洛西口第二保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年2月1日（金）～2月29日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2023年3月5日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園生活の様々な場面で生まれる発見や好奇心を大切にすることを心掛けた。遊びの面では興味を持ったことを継続して取り組めるように・食育の面では体験できるものを中心に取り入れることで“経験から学ぶ”を目標に「おもいっきり保育」の実践に繋げることができた。 行事の面では普段の保育から子どもたちの興味を引き出し“保育の延長線”として取り組むようにした。
子どもの発達援助	各年齢に応じた生活面の自立を設定したうえで、個々の発達過程や環境に目を向け、職員全体でケースカンファレンスを毎回行い、援助の仕方を共有した。個別対応で援助することで、それぞれのタイミングや生活リズムを大切に進めていくことができた。
保護者に対する支援	保護者との会話の中で子どもの“今の姿”を共有し、具体的な事例や補助の仕方を伝えることで、家庭と保育園での関わりができるだけ近いものとなり、子どもが戸惑いなくできるように心掛けた。また行事の後はアンケートをとり、保護者目線での思いもくみ取れるように配慮した。
保育を支える組織的基盤	新任・育休明けスタッフが複数名いたので、職員間のコミュニケーション力を強化できるようミーティング・会議を定期的に行いみんなで発言できる場を設けるよう努めた。その結果課題が浮かぶごとに職員間で話し合い、改善策を見出すことができたので、次年度も引き続き育成に力を注いでいきたい。

総評
職員の連携については 担当制ではあるが、“困っていたら助け合おう”の気持ちを職員みんながもてるように意識づけし、チームワークの強化に繋げることができた。保育に関しては子どもの“やりたい気持ち”に寄り添い、とことん付き合うことで気持ちを満たしたり、継続したあそびを通して子ども発案であそびを展開できる環境づくりをし、考える力を育むことができた。 次年度においても“ていねいな保育”を強みに、子ども・保護者共に密に関わっていきたい。